



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030
伊原 忠 ☎047-488-7207
飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党
八千代市議団
ホームページ
<https://jcp-yachiyo.jp>



日本共産党八千代市議団メール：kyousan@jcp-yachiyo.jp

第598号
2023年7月3日

発行
日本共産党
八千代市議会議員団
八千代市大和田新田
312-5

八千代医療センターの診療体制を正常に

東京女子医科大学大八千代医療センターの休診問題は、一部改善が行われたものの、正常化には程遠いものです。

昨年末までは、●呼吸器内科、●血液内科、●糖尿病・内分泌代謝内科、●リュウマチ・膠原病内科、●皮膚科の5科が休診でした。

今年に入り、皮膚科は1月から、糖尿病・内分泌代謝内科は4月から受け入れが再開され、さらに6月1日からは常勤医が1名追加され、週4日体制から6日体制に改善されました。

しかし、他の3内科の受け入れは再開されず、本来の正常な状況になる見通しが無いために市民や利用者の不安は解消されていません。

「市民が主役の会」が市長に要請

5月17日、市民団体(市民が主役の市政を実現する会)が約1,800筆の署名をもって服部市長に要請行動を行ないました。要請の内容は以下の通りです。



写真：八千代市長に署名を手渡す「市民が主役の会」代表の桜井美徳さん

近年の八千代医療センターの現状は、八千代市と八千代医療センターが交わした基本協定の理念に反していること。八千代医療センターの長期にわたる内科の新規患者受け入れ中止を解決するために、とりわけ服部市長がリーダーシップを発揮して、東京女子医大の岩本理事長とトップ交渉して早期に問題解決をはかること。

具体的には、以下の3項目を要請しました。

- ①内科5科の新規患者の受け入れ中止を解決するために医師・看護師の人員補充を早期に行なうこと。
- ②本院理事長が提案している内科総合化、人件費の援助は受け入れられないこと。
- ③本院理事会に大学教授、医師、スタッフとの民主的な協議による病院運営を求めること。

八千代医療センターから支援要請があっても市は公表しない?

日本共産党八千代市議団は6月議会で、「八千代医療センターから八千代市に支援の要請があったのか？」尋ねたところ、「現状では正式な要請はない」とのことでした。さらに「要請があった場合、内容の公表は考えていない」とのことでした。

八千代医療センターが診療科目の休止に至った経過は、東京女子医大の人事や労働環境問題が根底にあり、その結果、市民が犠牲になっています。

市は、このことへの反省に立つならば、八千代医療センターからの支援要請があった場合には、市民と議会に内容を公表するのは当然ではないでしょうか。何故、公表を拒むのか、市長に答弁を求めましたが、拒否されてしまいました。

市民の税金が投入される可能性があるのに、市民に公表しないというのは、市民不在の市政と言わざるを得ません。

日本共産党は引き続き、市民が主役の市政実現に向けて奮闘する決意です。